

公益財団法人 8020 推進財団

令和2年度歯科保健活動助成交付事業報告書抄録

1. 事業名：DVD「歯肉が危ない」（仮）作製

2. 申請者名：高村秀平、竹内紀雄、柳瀬章雅、嶋 隆義、奥村竜也、横山 忠、酒井文雄

3. 実施組織：名古屋市学校歯科医会

4. 事業の概要：名古屋市学校歯科医会では小学生の歯肉炎予防を目的に名古屋市教育委員会と共に、1988（昭和63）年度より歯科疾患特別健診を実施してきた。その中で歯肉炎に対する教材として1994年（平成6年）「歯肉が危ない」（ビデオテープ VHS 版）等を製作し市内の小学校に配布してきたが、文科省が編纂した「平成29年告示 中学校学習指導要領解説 保健体育編」の中で、予防すべき生活習慣病の一つとして歯肉炎が明記された。対象を中学生にも拡大することが重要であり、その教材 DVD「歯肉が危ない」の改訂が必要となった。改訂にあたっては過去の内容の見直しを行い、現在の教育現場での使用を考慮したものと計画し、3年間の継続事業とした。

1年目 内容の確認、追加事項選定、資料収集、制作コンテンツの作成、調査
2年目 コンテンツの編集、監修
撮影、DVD 作製、配布
3年目 DVD 活用事例の調査、活用方法の再確認

5. 事業の内容：

名古屋市学校歯科医会内にて DVD 作製にむけて検討委員会を設立し、教材制作会社（教育出版株式会社）と名古屋市学校歯科医会顧問の愛知学院大学歯学部口腔衛生学講座 嶋崎義浩教授に DVD 作製に関し御協力、御助言をいただきながら進めている。

撮影を効率的に行うための事前の準備（シナリオの整理、必要な画像、動画撮影、必要な内容の整理等）が重要であり、令和2年度は、その準備期間として過去の資料の見直し、追加事項等の精査を行うこととした。

委員会は、新型コロナウイルス感染拡大のためオンライン会議がメインとなったが、複数回催し様々な意見を抽出し、一部着手している。今後の方向性の一部としては

- ・各学校で手軽に使用可能な教材を目指し、今回も DVD メディアを用いて教材を制作し配布する。
- ・もともとの素材が平成8年製作のもののため、画像やスライドの解像度が低いため、症例写真、動画を改めて撮影する必要があることを確認し、また肖像権等の個人情報に配慮して必要な症例の収集に向けた外部からの協力を如何に取り入れるかの検討。
- ・児童生徒に興味をもっていただくことを重視し、画像や音楽等のリファインが必要と考えられ、その方法に関しても検討した。動画の部分の CG 化も議題に上がったが、高価なため今回も模型撮影等を中心に行う。

説明のため登場するキャラクターは、以前のものでは名古屋市学校歯科医会で歯科疾患特別健診の報告書に用いている「歯肉くん」というキャラクターであるが、昨年度名古屋市学校歯科医会の新キャラクターとして作成した「まもるくん」と「よいこちゃん」をメインにし、より親しみやすい雰囲気とする予定である。キャラクターのアニメーションは今年度より製作している。

6. 実施後の評価(今後の課題)：

令和2年度は前年度末より新型コロナウイルスがの感染が世界中に拡大し、日本国内においても緊急事態宣言が発令されるなどし、対面での会議、打ち合わせがなかなか行えず、不慣れたオンライン会議中心となった。

その中で映像作製に関する情報収集から始まり、制作会社からアドバイスをいただきながら実際の製作にむけての準備を行ってきたが、計画より遅れているのが現状である。変更点の抽出をおこない製作にむけての大筋ができたため、できるところから着手している。令和3年度は実際の製作にむけて症例を収集し、シナリオを固めて撮影を行っていく予定である。